

＊教採対策問題＊

H17. 4. 26 (火)

【1】次の文を読み、下記の問いに答えよ。

すべて国民は法律の定めるところにより、その（ ① ）に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に（ ② ）を受けさせる義務を負ふ。（ ③ ）はこれを無償とする。

（1）文中の①にあてはまる語句を示せ。 ① _____

（2）文中の②及び③にあてはまる語句を次のア～キから選べ。

ア. 義務教育 イ. 国民教育 ウ. 普通教育 エ. 学校教育
オ. 教育 カ. 初等・中等教育 キ. 公教育

② _____ ③ _____

（3）上記の文はある法令の条文である。その名称を示せ。 _____

（4）上記の条文に最も関係の深い条文を次のア～オより選べ。

ア. 憲法第 20 条 イ. 教育基本法第 4 条 ウ. 教育基本法第 5 条
エ. 学校教育法第 11 条 オ. 学校教育法第 18 条 _____

【2】次の文を読み、（ ）に正しい語句を入れなさい。

○ 教育基本法前文

われらは、さきに、（ ）を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、（ ）と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において（ ）の力にまつべきものである。

われらは個人の（ ）を重んじ、（ ）と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも（ ）ゆたかな文化の創造を目指す教育を（ ）しなければならない。

ここに、（ ）の精神に則り、（ ）の目的を明示して、新しい日本の教育の基本を確立するために、この法律を制定する。

○ 教育基本法第 1 条

教育は、（ ）の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として、心理と正義を愛し、個人の（ ）をたつとび、（ ）と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

○ 学校法第1条

この法律で、学校とは、小学校、中学校、高等学校、()、大学、
()、盲学校、聾学校、養護学校及び()とする。

【3】次の文を読み、_____にはあてはまる語句を、()には適切な語句を下の語群から選りなさい。

・教育基本法第3条

すべて国民は、_____、その_____に
かなる教育を受ける機会を与えられなければならないものであつて、人種、(ア)、性別、(イ)、経済的地位又は門地によつて、_____差別されない。

・教育基本法第6条

- ① 法律に定める学校は、(ウ)をもつものであつて、国又は地方公共団体の外、法律に定める_____のみが、これを設置することができる。
- ② 法律に定める学校の教員は、(エ)であつて、自己の使命を(オ)し、その(カ)の遂行に努めなければならない。このためには、教員の_____は、尊重され、その待遇の適正が、期せられなければならない。

職務	信条	社会的地位	価値	全体の奉仕者	社会の形成者	
公の性質	身分	自覚	責任	職責	教育	社会的身分

ア _____ イ _____ ウ _____ エ _____
オ _____ カ _____

＊教採対策問題 解答＊

H17. 4. 26 (火)

【1】次の文を読み、下記の問いに答えよ。

すべて国民は法律の定めるところにより、その（ ① ）に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に（ ② ）を受けさせる義務を負ふ。（ ③ ）はこれを無償とする。

（1）文中の①にあてはまる語句を示せ。

① 能力

（2）文中の②及び③にあてはまる語句を次のア～キから選べ。

ア. 義務教育 イ. 国民教育 ウ. 普通教育 エ. 学校教育
オ. 教育 カ. 初等・中等教育 キ. 公教育

② ウ

③ ア

（3）上記の文はある法令の条文である。その名称を示せ。

日本国憲法第 26 条

（4）上記の条文に最も関係の深い条文を次のア～オより選べ。

ア. 憲法第 20 条 イ. 教育基本法第 4 条 ウ. 教育基本法第 5 条
エ. 学校教育法第 11 条 オ. 学校教育法第 18 条

イ

【2】次の文を読み、（ ）に正しい語句を入れなさい。

○ 教育基本法前文

われらは、さきに、（ 日本国憲法 ）を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、（ 世界の平和 ）と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において（ 教育 ）の力にまつべきものである。

われらは個人の（ 尊厳 ）を重んじ、（ 真理 ）と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも（ 個性 ）ゆたかな文化の創造を目指す教育を（ 普及徹底 ）しなければならない。

ここに、（ 日本国憲法 ）の精神に則り、（ 教育 ）の目的を明示して、新しい日本の教育の基本を確立するために、この法律を制定する。

○ 教育基本法第 1 条

教育は、（ 人格 ）の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の（ 価値 ）をたっとび、（ 勤労 ）と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

○ 学校法第1条

この法律で、学校とは、小学校、中学校、高等学校、（中等教育学校）、大学、（高等専門学校）、盲学校、聾学校、養護学校及び（幼稚園）とする。

【3】次の文を読み、_____にはあてはまる語句を、ア～カには適切な語句を下の語群から選りなさい。

・教育基本法第3条

すべて国民は、ひとしく、その能力に応ずる教育を受ける機会を与えられなければならないものであって、人種、（ア）、性別、（イ）、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

・教育基本法第6条

- ① 法律に定める学校は、（ウ）をもつものであって、国又は地方公共団体の外、法律に定める法人のみが、これを設置することができる。
- ② 法律に定める学校の教員は、（エ）であって、自己の使命を（オ）し、その（カ）の遂行に努めなければならない。このためには、教員の身分は、尊重され、その待遇の適正が、期せられなければならない。

職務	信条	社会的地位	価値	全体の奉仕者	社会の形成者	
公の性質	身分	自覚	責任	職責	教育	社会的身分

ア 信条 イ 社会的身分 ウ 公の性質 エ 全体の奉仕者
オ 自覚 カ 職責